

2024年度 世田谷区地域型保育事業第三者評価

第三者評価結果報告書

評価対象事業所	えにつくす		
サービス種別	地域型保育事業〔小規模保育事業A型〕		
運営法人	特定非営利活動法人子育て支援ひまわり		
事業所所在地	東京都世田谷区千歳台5-23-13 ^ア 7ステージ 東館1階		
事業所連絡先	電話：03-6411-5195	ファクス：03-6411-5196	
管理者・職氏名	園長	太知 由比	
評価機関名	合同会社フェアリンク		
東京都福祉サービス評価推進機構認証番号		機構12-213	
評価機関連絡先	電話：03-6379-1300	ファクス：03-6379-1889	
代表者・職氏名	代表社員	井上 浩之	
担当評価者氏名（東京都福祉サービス評価推進機構評価者養成講習修了者番号）	井上 浩之		H0201050
	津留 明子		H1601066
評価実施期間	2024年8月21日～2024年 月 日		
利用者調査（保護者アンケート）実施期間：10/28～11/18			
職員に対する事前説明実施日：8/21		訪問調査実施日：11/30	
利用者調査（滞在調査）実施日：10/22		フィードバック実施日：	

評価項目
【世田谷区保育の質ガイドライン】
(1)子どもの権利
(2)職員に求められる資質
(3)サービスの選択に関する情報提供及び利用開始時の対応※
(4)保育環境
(5)保育内容
①保育の計画と実践及び振り返り
②生活と遊びの中の教育
③食育
④健康
(6)安全管理
(7)保護者支援・地域の子育て支援

※東京都共通評価項目との関連で新たに追加した項目

～目次～

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| 1. 利用者調査（保護者アンケート）の集計結果 | …p. 1～6 |
| 2. 事業所の取り組みについての評価（評価項目ごとの評点及び講評） | …p. 7～17 |
| 3. 全体講評 | …p. 18 |

■報告書作成にあたっての基本的な考え方

- (1) 世田谷区保育の質ガイドライン（以下、ガイドライン）における保育内容の具体的な例示等に関する取り組みが事業所で行われていると判断するための要件として、以下の3点をすべて満たしていることとします。
- ① 事業者が当該事項を実施していること
 - ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
 - ③ その根拠が示せること
- (2) 上記の要件を踏まえ、ガイドラインにおける保育内容の具体的な例示等に関する取り組みに関して、以下の基準に沿って評点をつけます。

【評点基準】

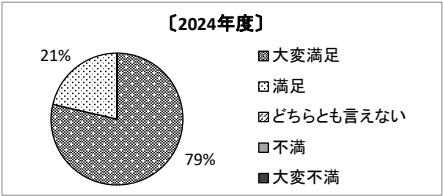
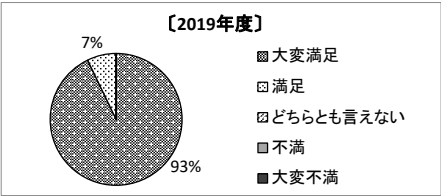
- A…十分にできている（Bの状態が一定期間、安定的に継続しており、さらに高い水準を目指した取り組みに着手している）
B…概ねできている（概ね標準的な水準に達している）
C…さらに努力を要する（標準的な水準に達するまでには、重要な部分において取り組みの余地を残している）

- (3) 評価項目ごとに、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていることの要点を簡潔にコメントにまとめます。
- (4) 全体講評として、事業所の基本理念や方針、現在の状況等を踏まえながら、以下の3点について、総括的な視点から各3つ以内でコメントに整理します。
- ① 事業所が重点的に取り組みを進めたことの成果として確認できた点
 - ② 事業所の取り組みにおいて、特に高く評価される点
 - ③ さらなる改善が望まれる点

1. 利用者調査(保護者アンケート)の集計結果

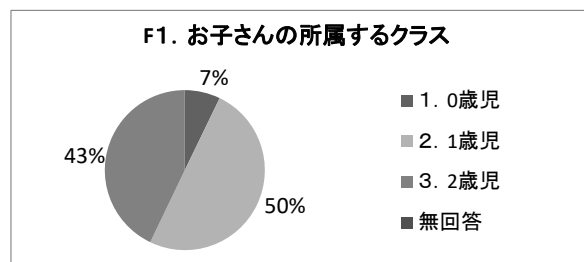
(1)各設問の回答の集計結果(前回対比)

		2019年度						2024年度					
【保育サービスの提供】		はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計
問1. 園での生活や活動、職員や他のお子さんとの関わり等は、お子さんの成長や心身の発達に役立っていると思いますか		14	0	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか		14	0	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか		14	0	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが身近な自然や地域、文化等に触れる機会は十分確保されていると思いますか		14	0	0	0	0	14	13	1	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか		14	0	0	0	0	14	7	4	0	3	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	50.0%	28.6%	0.0%	21.4%	0.0%	100%
問6. 子どもの健康や生命を守るための安全対策が十分取られていると思いますか		13	1	0	0	0	14	12	2	0	0	0	14
		92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問7. 行事や保護者懇談会等の日程は、参加しやすいように配慮されていると思いますか		14	0	0	0	0	14	12	2	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問8. お子さんの発達や発育の状態、家庭での育児方法などについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係はありますか		14	0	0	0	0	14	13	1	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
【安心・快適性】		はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計
問9. 園内は清潔で整理・整頓が行き届き、お子さんが快適に過ごせる空間になっていると思いますか		14	0	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問10. 職員の言葉遣いや態度、身だしなみなどは適切だと思いますか(職員としてふさわしいと思いますか)		14	0	0	0	0	14	11	3	0	0	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問11. お子さんのけがや病気(慢性的な疾患を含む)、体調の急変に際しての職員の対応は信頼できますか		14	0	0	0	0	14	10	3	0	1	0	14
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	71.4%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	100%
問12. 子ども同士のけんかやトラブル等があった場合の職員の対応は信頼できますか		13	1	0	0	0	14	10	2	0	2	0	14
		92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	100%
【権利擁護】		はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計
問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか		13	1	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問14. あなたやお子さんのプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか		12	1	0	1	0	14	12	1	0	1	0	14
		85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	100%	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	100%
問15. お子さんに対する保育の方針や目標、計画、内容等に関する職員の説明はわかりやすいと思いますか		12	2	0	0	0	14	12	2	0	0	0	14
		85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問16. あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか		11	2	0	1	0	14	12	1	0	1	0	14
		78.6%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	100%	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	100%
問17. あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか		10	0	0	4	0	14	9	4	1	0	0	14
		71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	100%	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	100%
		はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計	はい	どちらとも言えない	いいえ	非該当・わからない	無回答	計
問18. 世田谷区の保育の質ガイドライン「なるほど せたがやのほいく」について、園から案内や説明を受けていますか		7	1	1	5	0	14	5	4	2	3	0	14
		50.0%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%	100%	35.7%	28.6%	14.3%	21.4%	0.0%	100%
問19. 園の職員間のチームワークや連携、情報の共有はできていますか		13	0	1	0	0	14	11	3	0	0	0	14
		92.9%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	100%	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問20. お子さんの普段の保育園での生活を保護者が見たり、成長の様子を知るための園の取り組みは十分だと思いますか		12	2	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
問21. 保育園と子どもの成長を喜び合い、ともに子育てをしていると感じていますか		13	1	0	0	0	14	14	0	0	0	0	14
		92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
【総合的な感想】		大変満足	満足	どちらとも言えない	不満	大変不満	無回答	計					
[1]当園のサービスを総合的に見て、どの程度満足していますか	2019年度	13	1	0	0	0	0	14	表中の矢印の見方 ↗ 前回より上昇傾向 → 前回とほぼ同水準 ↘ 前回より下落傾向				
		92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%					
	2024年度	11	3	0	0	0	0	14					
		78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%					

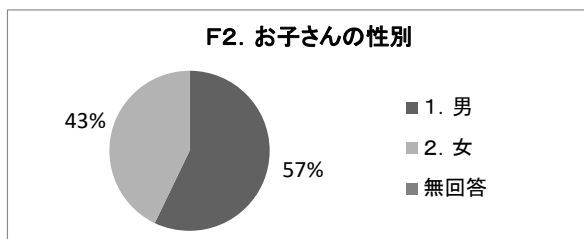


(2)お子さん及び保護者(回答者)の属性についての集計結果

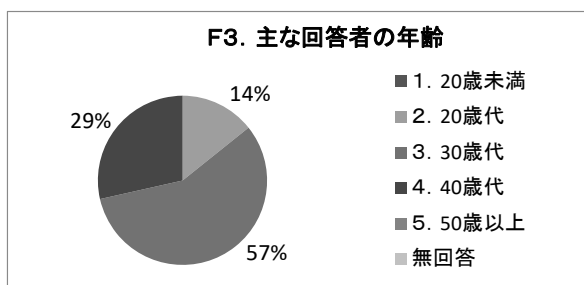
F1. お子さんの所属するクラス	回答	割合
1. 0歳児	1	7.1%
2. 1歳児	7	50.0%
3. 2歳児	6	42.9%
無回答	0	0.0%
計	14	100.0%



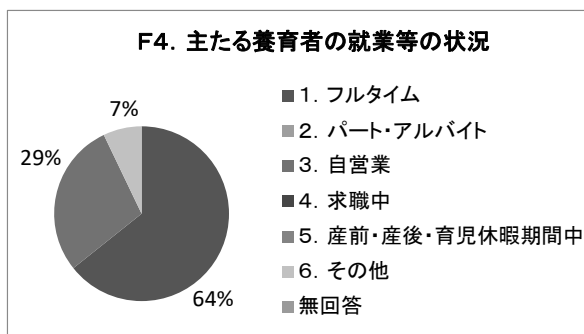
F2. お子さんの性別	回答	割合
1. 男	8	57.1%
2. 女	6	42.9%
無回答	0	0.0%
計	14	100.0%



F3. 主な回答者の年齢	回答	割合
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	2	14.3%
3. 30歳代	8	57.1%
4. 40歳代	4	28.6%
5. 50歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	14	100.0%

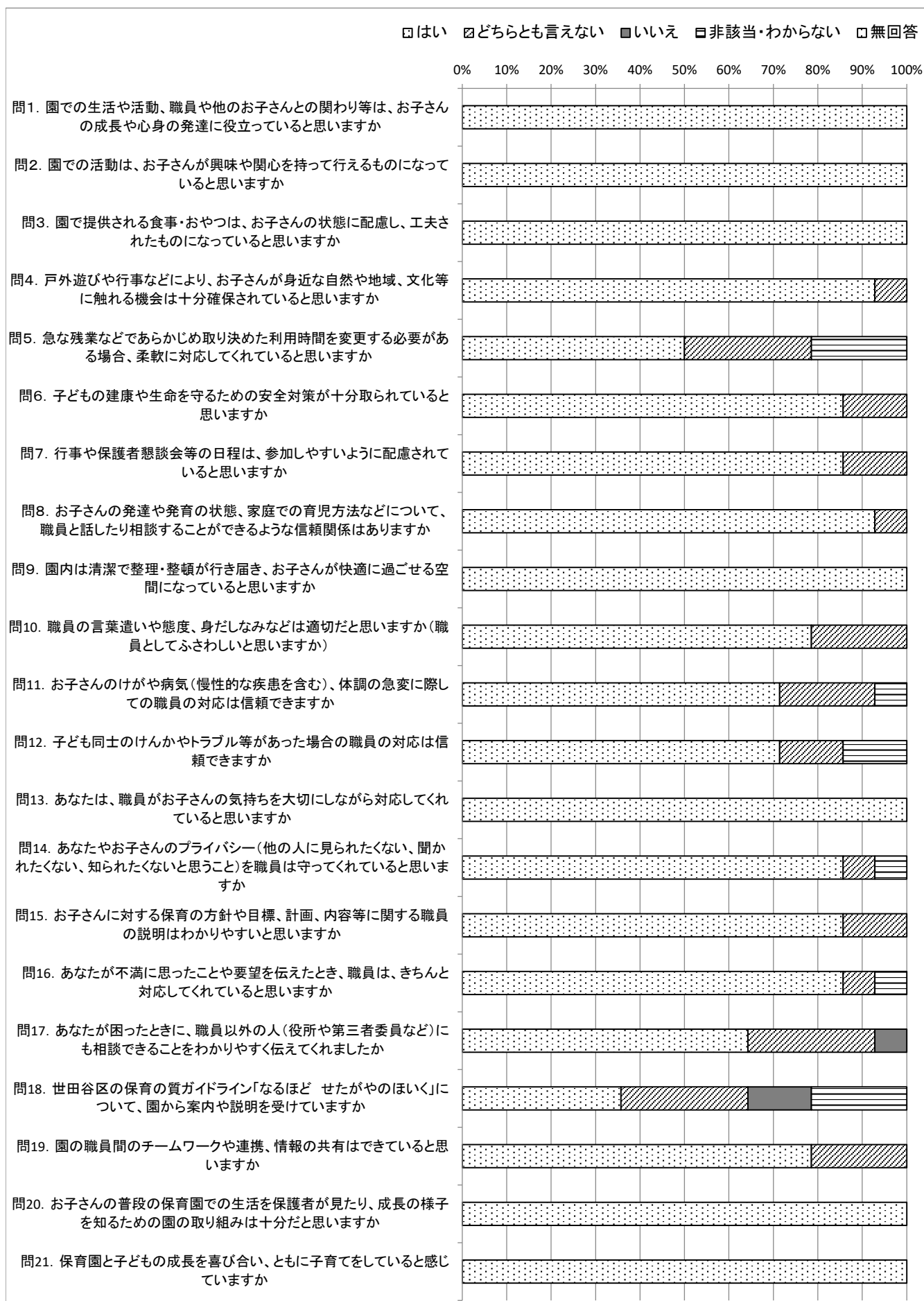


F4. 主たる養育者の就業等の状況	回答	割合
1. フルタイム	9	64.3%
2. パート・アルバイト	0	0.0%
3. 自営業	4	28.6%
4. 求職中	0	0.0%
5. 産前・産後・育児休暇期間中	0	0.0%
6. その他	1	7.1%
無回答	0	0.0%
計	14	100.0%



(3)各設問の回答の集計結果(棒グラフ)

n=14



(4)自由記述欄のコメント

①共通評価項目に対する自由記述

- ・回答欄の英数字は、コメントを書いた方の各設問に対する回答を表しています。
(1…はい、2…どちらとも言えない、3…いいえ、4…非該当・わからない、N…無回答)
- ・回答の匿名性に対する配慮から、個人が特定される恐れがある場合は、コメントの一部を必要最小限の範囲で加工して表示することがあります。

問1. 園での生活や活動、職員や他のお子さんとの関わり等は、お子さんの成長や心身の発達に役立っていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	園での生活リズムや子どもの興味のあることや個性を尊重してもらっているなど感じます。子どもの行動や発言で感じたり、先生からの発言や連絡帳などを見ていて感じています。

問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	基本的に、子どもの興味を尊重してくれている印象なので、興味関心を持っていると思います。畑や食育も新しい体験に刺激をもらっているなどと思います。楽しそうなので。

問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	体調が少し悪い時や、好きな食べ物、苦手な食べ物、好きな食べ方など、細かくその子の個性をよく見ていただけているなど感激しています。家でも真似させてもらいました。

問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが身近な自然や地域、文化等に触れる機会は十分確保されていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	他の園との交流があったり、行事はとっても細かく準備されているなど感じます。親も見ていると楽しくなります。ただ、先生たちが大変なのではと少し心配になります。子どもはとても楽しそうです。

問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	私の仕事が本当にすごく変動が激しいのですが、ご対応していただいている印象です。

問6. 子どもの健康や生命を守るための安全対策が十分取られていると思いますか

No.	回答	コメント
1	2	避難訓練を月1で行っているのと、園に入るためのルールもしっかりされているので、安心しています。健康に関しては、ある時期から保健師さんに避けられていると思います。

問7. 行事や保護者懇談会等の日程は、参加しやすいように配慮されていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	行事は日曜だったり、その他の保護者参加や面談は事前にご相談があるので、参加しやすいです。

問8. お子さんの発達や発育の状態、家庭での育児方法などについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係はありますか

No.	回答	コメント
1	2	保育者さんによります。よく子供が疲れていると言われますが、仕事の都合でどうしようもない時に言われても困ります。

問9. 園内は清潔で整理・整頓が行き届き、お子さんが快適に過ごせる空間になっていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	とてもキレイで、よく消毒や洗濯も行っている印象です。

問10. 職員の言葉遣いや態度、身だしなみなどは適切だと思いますか(職員としてふさわしいと思いますか)

No.	回答	コメント
1	2	ほとんどの保育者さんはとても良い方で素晴らしいと思っていますが、一部の保育者さんは病気の連絡を入れると鼻で笑ったり、子どもが「疲れている」と言ってきたりします。時にすごく不快です。

問11. お子さんのけがや病気(慢性的な疾患を含む)、体調の急変に際しての職員の対応は信頼できますか

No.	回答	コメント
1	2	保健師さん以外はすぐに連絡を下さるので信頼しています。

問12. 子ども同士のけんかやトラブル等があった場合の職員の対応は信頼できますか

No.	回答	コメント
1	2	けんかやトラブルの報告はあまり聞かないのでよく分かりません。聞かないので楽しく過ごしているのかなと思っていますが、もしあるなら知りたいなと思います。今のところ不満はないです。

問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

No.	回答	コメント
1	1	子どもの様子を細かく教えてくれるのと、子どものためを思って言ってくれるのが分かるので、子どものことはとても大切にされているなと思います。

問14. あなたやお子さんのプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか

No.	回答	コメント
1	4	今のところ、そういうことはないので、守ってくれているかも分かりません。

問15. お子さんに対する保育の方針や目標、計画、内容等に関する職員の説明はわかりやすいと思いますか

No.	回答	コメント
1	1	個人面談で説明して下さるので分かりやすいです。

問16. あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

No.	回答	コメント
1	4	不満を伝えたことはないので、分かりません。また不満があっても一部の保育者の方なので、直して下さるかは分かりません。

問17. あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

No.	回答	コメント
1	1	お手紙に連絡先や、口頭でも伝えられているので、把握はできています。

問18. 世田谷区の保育の質ガイドライン「なるほど せたがやのほいく」について、園から案内や説明を受けていますか

No.	回答	コメント
1	1	冊子はもらったと思います。案内や説明があったかは忘れてしまいました。
2	4	以前、説明を受けているかもしれないですが、パッと思い出せません。

問19. 園の職員間のチームワークや連携、情報の共有はできていると思いますか

No.	回答	コメント
1	2	できていると感じる時と、できていないと感じる時もあります。ですが、不快になる程ではありません。

問20. お子さんの普段の保育園での生活を保護者が見たり、成長の様子を知るための園の取り組みは十分だと思いますか

No.	回答	コメント
1	1	ブログや写真で参加できる機会もありますので、十分だと思います。もっと見たくても仕事が忙しいので、今が丁度良いと思います。

問21. 保育園と子どもの成長を喜び合い、ともに子育てをしていると感じていますか

No.	回答	コメント
1	1	園長先生や担任の先生や土曜保育の先生など、自分の子どもとよく接している先生は、直接話すので感じやすいのですが、他の先生からも感じる時があります。

②総合的な感想

- ・回答欄の英数字は、コメントを書いた方の総合的な感想〔1〕に対する回答を表しています。
(1…大変満足、2…満足、3…どちらとも言えない、4…不満、5…大変不満、N…無回答)
- ・回答の匿名性に対する配慮から、個人が特定される恐れがある場合は、コメントの一部を必要最小限の範囲で加工して表示することがあります。また、一人の方のコメントの内容が多岐にわたるような場合に、いくつか分割して表記する場合があります。

〔2〕日頃お感じになっている当園に対するご意見やご感想、ご要望などについて、ご自由にお書きください。

No.	回答	コメント
1	1	園児に対する保育士の割合が高く、手厚く保育していただいている印象が強いです。入園してから1年半程度ですが、日々他の園児とのふれあいがあり、またそれを安全にできるよう配慮していただいている保育士さんのおかげで、子どもが大きく成長していることを実感します。
2	1	子どもについて理解し、尊重しながら保育して下さるので安心してお願いできています。子どもの良いなと思う面をたくさん引き出して伸びていくようになったのは、えにつくすのおかげだと感じています。
3	1	小規模が子どもに合っている部分もあり、とても丁寧にみて頂いて、いつも本当に感謝しています。私たち夫婦が、余り細かいことを気にしない部分もあるかもしれませんが、小さなすり傷等、一見、自分達では特に気にしていない部分もご説明頂き、誠意を感じます。自宅から離れているため、当初は第一希望ではなかったですし、転園も考えたのですが、子どもにとって環境がコロコロ変わるのはいくつかないと思いましたが、とても親身になって見て頂けることもあり、継続して通わせて頂くことを選択しましたが、本当に良かったと思っています。強いて要望を挙げるのであれば、延長保育で18時までなのが短いと感じること、19時だったら本当に助かるなどという点と、れんらくちょうが紙ベースなので、デジタル化が進むと良いなと思いました。(コドモンなど)
4	1	先生方が子どもに対して愛情深く接してくださっている様子が伝わってきます。できるだけ子どもの希望に沿って対応していただき感謝しております。
5	1	先生方にはいつも子どもにも、親にも、きょうだい児にも親切に愛を持って接していただき感謝しています。ひとつだけ要望があります。看護師の先生には、子どもをよく見てくださりありがたいのですが、園の子どもたちを守ることに一生懸命で、少し厳しいような気がします。「コロナが疑われるからコロナの検査をしてほしい」、「この状態だと家でゆっくりした方が子どもにとってもよいのでは」(たいした症状がなくても)と勧められ、体調が少し悪いときに園を利用することに罪悪感をもってしまふことがあります。
6	1	とても良くみてくださり、本当に感謝しています。
7	1	長年に渡りお世話になっています。園の対応は大変満足しており、安心して子どもを預けています。子育ての心配事などささいな事も相談できる雰囲気ありがたいです。
8	2	基本的に子どもをよく見て下さっていて、子どもが楽しそうにすごしていると感じていて、すごく素敵な園だなと思っています。行事も少しずつ準備をされていて、園が華やかになっていくのを見てみると、先生たちの努力をととても感じます。しかし、一部の先生からは「子どもが疲れているので休ませて欲しい」と言われます。子どもを心配して、親も心配して下さる中で言うて下さる方は、すごく心配されて言うて下さっているなと感じますが、仕事の都合で、どうしても預ける時間が長くなってしまったり、他の方を頼らざるを得ない時に、「疲れてるのかな？」とか「疲れてますね」と何度も言われるととても不快です。1人の方にしか言われていませんが、こちらも生きていく上で仕事をしなければいけないので、仕事をしないで生きていけるなら、そもそも子どもを保育園に預けていません。そんな中で、「疲れている」とこちらを心配して言うている様子にも感じない様な言い方で何度も言われると、こちらも疲れさせてしまっている罪悪感や自覚は必ずありますので、とても不快です。仕事をせざるを得ない中、どうしても子どもを預けないといけないから、保育園に預けていることを分かって欲しいです。親が遊んでいるならまだしも、仕事をしているのです。子どもに対して、一緒にいれないことを、ずっと申し訳なく思っています。追い討ちをかけないで欲しいです。ただ、学年が上がってから、その言うてくる方と関わる機会は減ったので、向こうもこちらの気持ちも分かっているのか、配慮して下さっているのか分かりませんが、「疲れている」と言われることが減ったので、すごく快適に利用させてもらっています。病気連絡を鼻で笑う方は、クセなのか何なのか分かりませんが、子どもが病気になるのもおもしろいことや笑う要素は全くないのでやめて欲しいです。これもある1人の方のみです。本当にこの2人以外の方々は、とっても良い先生ばかりなので、もっとお給料を貰って欲しいですし、2人目ができたら、また通いたい園です。いつもとっても感謝しています!!

〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

No.	コメント
1	可能であれば電子化し、スマホ(もしくはPC)でも回答できるようにしてほしいです。
2	クレーム窓口があることも知っていますが、この様な形で、アンケートをとって下さると、普段園に対して思っていることを伝えやすいなと思いました。とてもありがたいです。保育者さんたちにはいつも感謝していますので、もっともっと待遇がよくなることを願っています。一部の保護者を攻撃する様な保育者さんは、改善して下さると嬉しいです。
3	こちらの調査の趣旨とは異なると思うのですが、保育士の方の待遇がもっと良くなってほしいです。実際、区内でも虐待のニュースはありましたし、第三者評価は必要だと思うのですが、ごく一部の話だと思っていますし、働いている方々にポジティブな要素がもっとあっても良いと考えています。今や、共働きは一般的ですし、両親も近くにおらず、保育園に入れてなかったらと思うと本当にぞっとします。単純に、インフレなどあっても、収入面で子育てが難しいと考えている人も多いと思うのですが、保育園を含めて、子育てしやすい施設がもっと増えればなと考えています。

2. 事業所の取り組みについての評価(評価項目ごとの評点及び講評)

(1)子どもの権利〔世田谷区保育の質ガイドラインp.3〕

保育内容の具体的例示		評点
1. 「子どもが何を求めているか」を知ろうとしている。		B
2. 子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している。		B
3. 子どもや保護者の気持ちを傷つけるような職員の言動・保育放棄・虐待・無視・差別等を禁止する職員行動規範等を定めている。		A
4. むやみに制止や禁止する、子どもの言葉や身振りなどを無視する、呼び捨てやあだ名での声かけ、不必要な大きな声、否定的な対応などをしていない。		A
5. 職員は、一人ひとりの子どもの行動や欲求に、わかりやすい言葉で穏やかに個々の子どもに語りかけ、応答的に関わっている。		A
6. 一人ひとりの子どもの生活習慣や文化などの違いを知り、それを認めあう心を育てよう努めている。		B
7. おむつ交換やトイレ、着替え、プール指導の際は、全裸で放置されることのないよう配慮し、他者の視線を遮る工夫をしている。		B
(1)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること		
<p>・コロナ禍を経て、昨年度は「子ども中心の保育」に立ち返るべく、『世田谷区教育・保育実践コンパス』を園内研修で取り上げるなど、保育の見直しに取り組んだ。今年度も引き続き子どもの人権に対する職員の学びを深めることを基本方針に謳い、年度初めに、職員に「保育理念」及び「園が目指すもの」について書面を配布して、職員会議で全員で確認している。</p> <p>・「保育の基本チェックリスト」や区が作成した「子どもの人権チェックシート」を職員に配布し、期ごとに保育の振り返りを行っている。権利の主体としての子どもに対する向き合い方等の定期的に振り返り、日頃の保育の中に適切とは言えない関わりが潜んでないかを確認している。ただし、チェックリストによる振り返りが職員個々の取り組みにとどまっているため、今後は、振り返りの結果を共有して、問題点等を職員全体で話し合い、保育のさらなる向上に役立てることを期待したい。</p>		

(2)職員に求められる資質〔世田谷区保育の質ガイドラインp.3～4〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 保育指針を十分に理解し、日々の保育実践に活かしており、向上心を持って取り組んでいる。	A
2. 施設長は、施設の課題を自覚し、職員に対し指導や助言を行うなど、役割を果たしている。	A
3. 倫理観、人間性、保育施設職員としての責任感を持ち、自覚をもって保育に従事している。	B
4. 子どもと関わることを喜び、子どもと一緒に楽しむことができ、積極的に保育に従事している。	A
5. 乳幼児の発達過程を理解し、子ども一人ひとりの成長・発達に合わせ見通しを持った援助ができる。	B
6. 保護者の気持ちに寄り添い、保護者と共に子どもの成長を喜び、子どもの発達を支援している。	A
7. 職員間のコミュニケーションを円滑にし、共通理解と協働性を高めようと行動している。	A
8. 日ごろの保育を定期的に振り返り、保育の質を向上しようとする意欲がある。	A
9. 職員会議、研修、他園との交流等を通して、自身の保育の課題や不足している専門知識・技術について「気づき」の機会を多く持とうとしている。	A
(2)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・子どもの午睡中に職員間の話し合いの時間を設け(14～15時)、その日の子どもの姿の共有や連絡事項の周知等を図るとともに、月の予定に沿って担任会議や給食会議等を計画的に行っている。月の第2・4月曜日はその時間を園内研修に充て、年間計画に沿って、保育士会の倫理綱領や法人の保育理念、『世田谷区保育の質ガイドライン』(以下、『ガイドライン』)等に基づく職員の保育観のすり合わせや、子どもの安全の確保に向けた認識の共有化等の機会を設けている。</p> <p>・職員間の情報共有と連携の強化を図る目的で、昨年度より会議のメンバー構成や運営方法を変更したことで、職員からの意見やアイデアが出やすくなった。今年度からは毎開所日の朝、子どもの当園前の時間にミーティングを行い、その日の保育に必要な情報の引き継ぎ等に力を入れている。</p> <p>・日々の保育の中で、子どもに対する職員の対応や考え方が一致しないような場合に、会議の場で保育所保育指針等を振り返り、認識の統一を図る取り組みを継続している。その一方で、管理職層は職員同士が専門職として互いに良いところだけでなく指摘し合える関係性の強化を課題に上げており、問題の解決に向けたリーダーシップの発揮が期待される。</p> <p>・職員が子どもと関わることを喜び、子どもと一緒に楽しむことができるよう、職員が気持ちにゆとりをもって保育にあたるための環境整備の一環として、職員が勤務時間内に子どもたちから物理的に離れた場所で記録事務や打ち合わせ等を行う時間(ノンコンタクトタイム)を設けるようにしている。</p>	

(3)サービスの選択に関する情報提供及び利用開始時の対応〔東京都共通評価項目〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 利用希望者等が入手できる状態で、事業所の情報をわかりやすく提供している。	B
2. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	A
3. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	B
4. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	B
5. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	B
(3)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・法人のホームページから園の概要や保育目標、特徴等を日常の園生活の様子を映した動画も交えて紹介している。トップページにクラスごとの空き状況を月ごとに掲示するとともに、見学希望者用の申し込みフォームにジャンプするボタンを設けている。また、閲覧数を増やすために、昨年度からブログによる情報発信を開始した。給食を紹介した記事のアクセス数が多い傾向があるとのことで、今後も継続的な効果測定を行うことが期待される。その他、園のリーフレットを近隣の子育てステーションや児童館等に配布している。</p> <p>・利用希望者からの問い合わせや見学の対応は園長または主任が担当しており、見学については申し込みの時点で希望の日時を聞いて、可能な範囲で対応している。</p> <p>・保育所等の空き定員や空きスペースを活用し、3歳未満の未就園児を一定の範囲で定期的に預かる区の事業(はじめてのおどもだち事業)を、0歳児を対象に実施している。定員が充足した後の利用の問い合わせに関しては、同じ法人が運営する他の保育所もしくは近隣の子育てステーション等を案内している。</p>	

(4)保育環境〔世田谷区保育の質ガイドラインp.4～5〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 子どもの成長に合わせた玩具、遊具、絵本が、子どもの手の届く場所に適切な量で用意され、子どもが自由に選び、主体的に遊びを展開できるように配慮されている。	B
2. 施設内の清掃が行き届いており、保育室・トイレ等の清潔が保たれ、おもちゃなどの子どもたちが使用する備品類の消毒が行われている。	B
3. 子どもたちが遊びこむことができる時間と空間への配慮、自由な遊びコーナー等、子どもの自主性、自発性を尊重するとともに、子ども同士のかかわり遊びが豊かに行われるように工夫されている。	B
4. 手洗い場、机や椅子などは、子どもの身体に合った大きさに調えられている。	B
5. 友達と好きなことをして落ち着いて遊べる場所やひとりでじっくりと楽しむことができる場所、体や心をゆっくりと休めたりくつろげる空間がある。	B
6. 施設内外にかかわらず、死角をつくらないよう配慮している。	A
7. 菜園やプランターの植物等、生活の中で緑を楽しむことができる工夫など身近な自然と関わるができる取り組みがされている。	A
8. 外気に触れ、自然を感じ、興味を持って自ら移動、探索する楽しさを存分に味わい、体を動かす技能を発達させるための運動を行うことができ、かつ、子どもが安心して遊べる安全面に配慮された保育環境の工夫を行なっている。	A
9. 乳児の保育環境について、月齢や発達に配慮した乳児専用の空間が設けられているなど、乳児が安心して落ち着いた生活を送るための特別な配慮がなされている。	B
10. リズム・造形等の多様な表現活動を経験でき、自ら興味を持って関わり楽しめる工夫や継続して活動できるような環境設定がされている。	B
(4)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・各クラスでは、毎月子どもたちの状況を把握し保育環境の計画を立てている。子どもの興味に合った環境構成を心掛けるとともに、戸外遊びにも力を入れている。天候が許す限り戸外へ行き、近隣の公園や畑等自然との触れ合う活動も多く取り入れている。観察場面でも、公園の竹やぶで自由に走り廻る子どもやミズを探す子どもなど、それぞれ子ども自らが興味を持って活動ができるよう職員が関わっていた。</p> <p>・新たな公園に行く際には、予め職員が出向き危険な個所を写真に撮り「遊具危険個所ファイル」を作成し、職員で共有し安全に遊べる環境の確保に努めている。</p> <p>・計画については、必ず雨の場合のプログラムも並行して記載され、戸外遊びができない場合でも、興味に沿った遊びの提供を行っている。保育室の片隅には、マットが敷いてある仕切りのある狭い空間が用意され、子どものペースで遊んだり休んだりできる環境となっている。</p>	

(5)保育内容

①保育の計画と実践及び振り返り〔世田谷区保育の質ガイドラインp.5～6〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 職員は、「子どもの最善の利益」を考慮し、全体的な計画で保育施設がめざしている児童福祉の理念及び組織が目指す中長期的な目標を理解している。	B
2. 職員は、全体的な計画を通して、展開したい子どもの育ちの道筋、子ども像を共有している。	B
3. 子どもの発達や地域の特性をとらえて職員全体で年齢別の指導計画(年・期・月・週・日)をたて、計画に基づいた保育を実践し、定期的な評価・反省を行い、次の計画に反映させている。	B
4. 0・1・2歳の個人別指導計画は、個々の子どもの家庭環境を踏まえた成長歴・心身の発達、活動の実態に即して作成されている。	B
5. 児童票・保育日誌・施設日誌・保健日誌等があり、子どもの成長や日々の活動を記録している。	B
6. 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、保育の実態について話し合う会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	A
7. 配慮を要する子どもの支援について、保育所全体で認識し、必要に応じて個別指導計画を立てて保育を実践し、家庭や専門機関と連携し適切に対応している。	B
8. 入園時に利用者の個人情報(入園前の子育て状況、発育状況等)や要望を把握し、定められた書式に記録している。	B
9. 保育所の自己評価や保育士の自己評価など、日ごろの保育を定期的に振り返る機会を設けている。	B
10. 保育施設の保育内容や保育環境の向上・改善のため、職員からの提案を活かしている。	A
11. 保育施設は異年齢で構成される場所であり、異年齢のふれあいや交流を意図的にもっている。	B
(5)①に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・保育の記録等に関しては、今年度の区による実地検査における指導事項等を踏まえ、現在話し合いをもとに改良に取り組んでいる最中である。用紙の形式や書面に残す必要があるもの、あるいはITC化を取り入れられるもの等など、検討中であり、改良されたものも見られた。</p> <p>・計画については、全体的な計画をもとに各年齢の計画(年・期・月・週・日)がたてられ、実践している。振り返りの記載について、全体的に一言ではなく計画の項目ごとの反省点が記録されるとより次の計画に役立つと思われる。また、個人の計画についても、0歳・1歳児や配慮児については、個々の月ごとの記録は、項目ごと(養護・教育あるいはあそび・配慮)のねらいと振り返りがあるとより子どもの成長や変化が分かると思われる。</p> <p>・保育士の自己評価については、自己評価シートに記録した後、園長と年2回の面接が行われている。今年度は職員からの提案を受けて取り組みを始めたことが多くあり、行事の内容の変化や保育参観から保育参加と変わり、給食の試食も取り入れるなど、新たな試みが増えている。</p>	

②生活と遊びの中の教育〔世田谷区保育の質ガイドラインp.6〕

保育内容の具体的例示	評点
12. 子どもの好奇心、探究心、思考力などが育つよう、子どもが自ら興味を持って遊ぶことのできる保育を行っている。	B
13. 子ども一人ひとりの置かれている状況を把握し、ありのままの姿を理解と見通しを持って受け入れ、子どもが安定感と信頼感を持って、自分らしさを発揮し、行動できるよう援助している。	B
14. 季節の行事、誕生会等、子どもが季節感や文化などを体感したり、保育施設での生活を楽しめる工夫をしている。	A
15. 積極的に散歩などを実施し周囲の自然環境に親しみ、近隣住民や商店街、他保育施設等を含む地域との交流を図るなどしている。	A
16. 乳児保育を行うにあたって、一人ひとり抱いて目を見て微笑みかけて授乳したり、ゆったりと話しかけながらおむつ交換をしている。	A
17. 子ども一人ひとりの理解を深め、子どもの表現しようとする姿や話の内容を十分に受け止め、適切な言葉で応えながら、わかりやすく話せるようにしている。	B
18. 子どもが達成感を持って基本的な生活習慣を身に付けられるよう、子どもに分かりやすい方法で伝え、適切に援助している。	B
<p>(5)(2)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること</p> <p>・行事については、今年は職員からの発案で今までとは違った形式の夏フェス(夏祭り)やクリスマス会のワークショップ形式など、新たなものに代わり、子どもたちや保護者を楽しませている。ハロウィンでは、近隣の商店などに事前にお願ひし、子どもたちとお店をめぐって地域の人たちとの交流の機会となっている。</p> <p>・生活習慣については、昨年より排泄に関する関わり方を園全体で統一できるよう話し合った。1歳児の部屋からトイレが遠いことから、どのように排泄を援助するかを検討し、独自のマニュアルを作成した。排泄だけでなく、他の生活習慣についても検討していく予定である。</p>	

③食育〔世田谷区保育の質ガイドラインp.7〕

保育内容の具体的例示	評点
19. 保育施設の給食方針や目標が計画され、計画に基づき栄養士・調理職員と保育士等が定期的に情報交換し、連携を図って食に関する取り組みを行っている。	A
20. 衛生管理マニュアルや給食マニュアルを作成し、衛生点検表による毎日の点検、専用のエプロン・三角巾・履物の着用など、衛生管理が徹底されている。	B
21. 食事摂取基準に基づき、乳幼児の健全な発育・発達の実態に沿った、栄養バランスのいい給食を提供している。	B
22. 無理やり食べさせたり身体を拘束することなく、子どもの気持ちに寄り添いながら給食介助をしている。	B
23. 子どもたちが友達や保育職員との食事中の会話を楽しみ、友だちと一緒に食べる喜びを感じながら給食を食べている。	B
24. 個人差やその日の体調など個々の子どもの状態に合わせて量を加減したり、年齢(咀嚼力等)に応じた柔らかさや味付けなど細かい配慮を行っている。	A
25. 温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに食事ができるなど、献立の趣旨にかなった適切な温度で子どもの食事のタイミングにあわせて給食が提供されている。	A
26. 子どもの視点に立った計画に基づき、栽培、収穫したものを食べる、触れる等の食育活動を実施している。	A
27. アレルギー対応については、アレルギー食品の確認、献立の確認、誤食した場合の対応方法など、医師の診断書に基づき、保護者との定期的な話し合いを行い確認している。	A
(5)③に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・園の給食の献立は、4月に栄養の摂取基準を決め、独自に栄養士が立てている。卵のアレルギーのある子どもがいるため、卵を使わないメニューを提供している。週1回の担任会議では調理担当者も参加し給食の状況を確認している。一人ひとりの好みや摂食状況を共有し個々に合った対応を行っている。配慮児の場合では同じ食材でも形状を変えただけで、食べられることもあり、個別の配慮を大切にしている。</p> <p>・食事の配膳を待つことなく、準備ができた子どもから、すぐに食事が提供され、畑で収穫した野菜がある場合には、子どもたちに伝えている。食材に触れることから、トウモロコシの皮むき、野菜洗いやクッキーづくりなど子どもが楽しんでできる食育活動も行っている。近隣の家でみかんを取らせてもらい、園でみかんジュースを作って飲む予定もあり、子どもたちは楽しみにしている。</p>	

④健康〔世田谷区保育の質ガイドラインp.7～8〕

保育内容の具体的例示	評点
28. 保健(日常の衛生管理・感染症対策・与薬)に関するマニュアルがあり、職員全員に周知徹底されている。	B
29. 調理職員・調乳担当職員・栄養士の月1回の検便、全職員の採用前および定期的な健康診断を実施しており、結果を適切に管理している。	B
30. 子どもの入園の際に、既往歴及び予防接種等の把握を行い、入園前健康診断を実施している。	B
31. 子どもに対し定期的(年2回以上)な健康診断が行われ、結果を職員や保護者に伝達し保育に反映している。	B
32. 一日を通した生活リズムを把握し、個々の子どもにあわせて睡眠・食事・遊びがバランスよく整え、自己を十分に発揮し健康に過ごすことができるよう配慮している。	B
33. 排泄(おむつ交換)・着替え等の基本的な生活習慣は、きれいになった心地よさを感じるようゆったりとやさしく言葉をかけ、次第に自分でできるようになることを意識して援助するなど、一人ひとりの子どもの状況に合わせる工夫をしている。	A
34. 与薬は、医師の指示に従い与薬依頼書や調剤提供書などにに基づき行われ、与薬の際は複数の目で確認を行い、与薬が適正に行われたかを確認することができるしくみになっている。	B
35. 感染症発症時には、施設内掲示等で保護者に伝達したり、施設内の衛生管理を徹底するなど、職員・保護者の協力や職員の連携により拡大防止に努めている。	B
(5)④に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・園では、常勤の看護師が配置されており、子どもや職員の健康管理全般の業務を担っている。朝のミーティングで子どもの健康状態の確認が行われており、保育中も子どもの健康状態には看護師も気を配っている。与薬については、預かった時間と職員名を記載し、事務所の預かりケースに保管、全職員で共有している。また、与薬時間、担当者名も記名し、確実に行ったことが確認できる仕組みになっている。感染症が発症した場合には、保護者に玄関のボードで、早急に知らせている。</p> <p>・保育室に余裕がないため、体調が悪くなった子どもがいる場合に保護者の迎を待つ間、隔離する場所が無いことが、課題となっている。</p>	

(6)安全管理〔世田谷区保育の質ガイドラインp.8～9〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 事故や災害に適切に対応するためのマニュアルや防災計画を作成し、全職員に周知するとともに、避難訓練・消火訓練を計画的に実施している。	A
2. 個人情報の管理について、全職員で共通認識し、適切な管理が行われている。	B
3. 保育中の事故や事故につながる危険が発生した場合は、事故報告やヒヤリハット報告等を通じて職員間で迅速に情報を共有し、適切に対処するとともに(保護者対応を含む)、再発防止にむけて組織的に取り組んでいる。	A
4. 午睡の際は、一人ひとりの専用の布団が用意され、午睡チェックを行い、うつぶせで寝ているときは体位を変えるなど、SIDS防止の取り組みを行っている。	B
5. 遊具の安全点検や保育環境のチェックを定期的に行い、必要に応じ改善を行っている。	B
6. 子どもを保育する際は、少なくとも職員2名以上が配置され、緊急時にも対応できる職員体制を整えている。	A
7. 子どもの体調・表情・けが・食欲・清潔面・情緒面等を観察し、虐待の事実または疑いがある場合は、組織として速やかな対応ができるよう体制が整っている。	B
8. その日の子どもの様子や保育における安全管理等について、子どもの行動を予測し、職員同士がアイコンタクトやお互いに声をかけあうなどのコミュニケーションにより組織的に保育が実践されている。	B
(6)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・子ども2人に対して1人以上の保育者を配置している他、常勤の看護師を配置し、子どもの急変時等に迅速に対応できる体制を整えている。園では、安全管理と子どもの主体性の尊重のバランスについて、職員間の認識を合わせることが課題と認識している。</p> <p>・保育所保育指針等に基づき、年度の保健・安全計画を作成し、実施状況を3か月ごとに評価している。避難訓練については、火災、地震、不審者侵入等のうち2種類の異なる災害を想定して、発生の曜日や時間帯、発生場所等の条件を毎回変え、毎月2回実施している。また、夏の水遊びにおける事故防止を徹底するために、監視役となる職員の動きの再確認や熱中症予防対策等に力を入れて取り組んだ。</p> <p>・食物アレルギーを引き起こす恐れのある食材をあらかじめ除去した献立で給食を提供している。今年度、他園で発生した給食の誤嚥による子どもの死亡事故の検証報告をもとに、職員間で給食の提供体制等について話し合いの場を設けた。また、消防署が実施する救急救命講習については、職員全員が交代で受講している。</p> <p>・SIDS防止対策として、0歳児は午睡センサーを使用している他、必ず見守りの職員を配置して、0・1歳児は5分ごと、2歳児は10分ごとに子どもの呼吸と体位を確認している。</p> <p>・保育中の子どものけがや事故等につながる恐れのある場面に居合わせた職員が、その状況を書面で報告し、職員間で情報を共有して事故の防止に役立てる取り組みを継続している。そのヒヤリハット報告の内容を園内のリスクマネジメント委員会で検討し、各クラスにフィードバックするとともに、クラスごとに起きうる事故を想定した予防対策を非常勤の保育士も交えて話し合っている。また、法人内の姉妹園と合同のリスクマネジメント委員会を定期的に関き、事故防止に向けた情報の共有を図っている。</p> <p>・朝の受け入れ時等に子どもの様子に異常が見られた場合は職員から主任、園長が報告を受け、保護者への確認を行うとともに経過を観察し、状況に応じて関係機関に連絡する体制を整えている。子どもへの虐待が疑われる場合は子どもの安全を優先し、必要に応じて関係機関に通報することを入園時に重要事項の一つとして説明し、保護者の同意を得ている。要保護児童に関しては、関係機関と連携して子どもの養育環境を見守り、子ども及び保護者に対する適切な支援に努めている。</p>	

(7) 保護者支援・地域の子育て支援〔世田谷区保育の質ガイドラインp.9〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 保護者懇談会や施設だより、クラスだより、保健だより等を活用し、保育方針や日々の保育の意図、子どもの保育施設での生活ぶり、また職員の状況等を家庭に紹介している。	A
2. 登降時間の会話や連絡帳などの日々のコミュニケーションや行事等あらゆる機会を通じて保育の意図、子どもの状況などを保護者と綿密に連絡を取り合っている。	A
3. 苦情解決(第三者委員等の活用を含む)、利用者アンケートに取り組み、その結果を踏まえた保育の改善について保護者に伝えている。	B
4. 保護者の話を傾聴し誠実に答える姿勢を持ち、保護者と職員相互で子どもの保育に関わる課題を共有し、保育実践や園運営に活かす工夫がある。	A
5. 子どもの成長の連続性を保障するため、子ども同士の交流や職員間の情報交換など、関係機関との連携を図っている。	B
6. 職員は、区や地域で行われているひとり親支援、障害児支援、養育困難家庭の支援、その他の専門的支援施策について理解し、必要とする家庭を支援につなぐ役割を果たせるように学んでいる。	B
(7)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<p>・子どもの誕生日を皆で祝うために、できるだけ誕生日当日に子どもの保護者を招いて誕生会を催し、手作りのケーキを提供している。今回実施した保護者アンケートでは、「園と子どもの成長を喜び合い、ともに子育てをしていると感じるか」との問いに回答者の全員が「はい」と回答している。回答率が約8割の結果ではあるが、園の取り組みが保護者の評価につながっていると考えられる。</p> <p>・子どもの保育園での姿や成長を日々の保護者とのコミュニケーションを通じて丁寧に伝えていくことを保護者支援の基本に位置付けている。各家庭と日々やり取りしている連絡帳の記述が一般的な内容とならないよう、子どもが興味を持って取り組んでいたことや、保育の中での印象的な場面を伝えるようにしている。</p> <p>・運営委員会に関しては、園規則の苦情対応に関する条文に「利用者が意見を述べる場」との記載がある他、重要事項説明書に保護者の代表者、地域の学識経験者、園の代表者の三者で構成される意見交換の場として年2回以上開催することが謳われている。開催後、園だよりを通じて議事の要点を保護者に伝えている。</p> <p>・経過措置期間のため、卒園後の受け入れ先となる連携園は現在、未設定の状態にあるものの、近隣の認可保育所との交流を通じて2歳児クラスの子どもが年中・年長児と触れ合う機会を設けている。</p> <p>・今年度は保育士等キャリアアップ研修の保護者支援に関する研修を看護師が受講し、その学びを共有化を図っている。今後は所定の研修に加えて、保育におけるソーシャルワークや相談援助技術の習得を図るための計画的な育成に向けた取り組みの検討が期待される。</p>	

(8)運営体制〔世田谷区保育の質ガイドラインp.10〕

保育内容の具体的例示	評点
1. 運営事業者として、熱意と積極性を持っており、保育に対する理念や方針が明確である。	A
2. 施設を運営していくにあたっての現場での意見が、経営者層の判断材料となる組織である。	A
3. 職員の雇用条件、就業規則等を明示するとともに、職員のワークライフバランスに関する視点を踏まえた自己啓発やリフレッシュのため労働環境（人員配置・時間の保障等）の整備など、職員が安心して働き続けられる労働条件の改善にむけて計画的に取り組んでいる。	A
4. 職員の経験年数や年齢等について、均衡が取れた組織体制となるように取り組んでいる。	B
5. 栄養士や保健師、看護師などの専門職を適切に配置している。	A
6. 職員がガイドライン(2)に定める「職員に求められる資質」を身に付けるために、園内外の研修や保育ネット等に参加して学びや知見を深め、園内で情報共有することができるよう計画的に取り組んでいる。	B
(8)に関して、事業所が特に配慮して取り組んでいることや工夫、または課題となっていること	
<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の看護師を1名配置し、園の保健計画に基づいて子どもの健康管理を行う体制を整えている。また、非常勤の栄養士1名と常勤・非常勤の調理員各1名を配置し、食物アレルギーに対する対応をはじめ、子ども一人ひとりに応じた給食の提供と保育現場と連携しての計画的な食育活動を展開する体制を整えている。 ・今年度の事業計画では、重点目標の一つに職員全体で協働し合う保育を掲げ、保育士、看護師、栄養士のそれぞれの専門性を互いに学び合い、協働性を高め合う体制の整備を掲げている。 ・各クラスの担任2名のうち、クラス内の連絡・調整の係に任じられた1名と園長、主任による会議を園運営の質向上に向けた協議の場と位置づけ、週1～2回開催している。また、クラス担任の他、フリーの保育士2名を配置し、各クラスのフォローに加えて、行事計画の作成や各係で分担している園内業務の進捗管理等に当たっている。 ・職員が気持ちにゆとりをもって保育にあたることのできる環境整備が重要と考え、業務の効率化や重点化、コンタクトタイムの導入等による負担の軽減に取り組んでいる。 ・園として年間の研修計画を作成し、都のキャリアアップ研修や区が主催する研修をはじめ、他園の見学を含めて、一人2回以上の外部研修の参加を促している。園長は職員一人一人と定期的に個別の面接を行い、年度における業務やスキルアップに向けた職員の意向の把握と目標設定、及び目標の達成状況の振り返りを行っている。 ・業界全体の採用難の折、人材確保策の一つとして、夜間の保育士養成校に通う学生を保育補助の非常勤職員として採用し、将来を見据えた育成に取り組んでいる。 	

3. 全体講評

(1)事業所が重点的に取り組みを進めたことの成果として確認できた点

①	保育の見直しに向けた取り組みの一環として、『世田谷区教育・保育実践コンパス』を園内研修で取り上げ、学びを深める機会を設けた。その中で重要性が謳われている「保育者の主体性の発揮」に向けて、職員が気持ちにゆとりをもって保育にあたることのできる環境整備が重要と考え、業務の効率化や重点化、コンタクトタイムの導入等による負担の軽減に取り組んでいる。
②	法人のホームページから園の概要や保育目標、特徴等を日常の園生活の様子を映した動画も交えて紹介している。トップページにクラスごとの空き状況を月ごとに掲示するとともに、閲覧数を増やすために、昨年度からブログによる情報発信を開始した。中でも、給食を紹介した記事のアクセス数が多い。園では、近隣の区民農園を借りて、子どもと一緒に無農薬野菜を育てる活動等に力を入れており、子どもたちが収穫した旬の野菜を調理して給食で提供するという食育の取り組みが注目を集めている。
③	保育所等の空き定員や空きスペースを活用し、3歳未満の未就園児を一定の範囲で定期的に預かる区の事業（はじめてのおどもだち事業）を、0歳児を対象に実施している。着実に利用実績を積み上げるとともに、地域の子育て支援施設としての知名度の向上につなげている。定員が充足した後の利用の問い合わせに関しては、同じ法人が運営する姉妹園もしくは近隣の子育てステーション等を案内している。

(2)事業所の取り組みにおいて、特に高く評価される点

①	子どもの保育園での姿や成長を日々の保護者とのコミュニケーションを通じて丁寧に伝えていくことを保護者支援の基本に位置付けている。子どもの誕生日には、それを皆で祝うために、できるだけ誕生日当日に子どもの保護者を招いて誕生会を催し、手作りのケーキを提供している。今回実施した保護者アンケートでは、「園と子どもの成長を喜び合い、ともに子育てをしていると感じるか」との問いに回答者の全員が「はい」と回答している。回答率が約8割の結果ではあるが、園の継続的な取り組みが保護者の評価につながっていると考えられる。
②	子ども2人に対して1人以上の保育者を配置している他、常勤の看護師を配置して、子どもの急変時等に迅速に対応する体制を整えている。子どもの安全を守る観点から、保育中の子どものけがや事故等につながる恐れのある場面に居合わせた職員がその状況等を書面で報告し、日々の職員間のミーティングで情報を共有している。また、そのヒヤリハット報告の内容を園内のリスクマネジメント委員会で検討し、各クラスにフィードバックするとともに、クラスごとに起きうる事故を想定した予防対策を非常勤の保育士も交えて話し合っている。さらに、法人内の姉妹園と合同のリスクマネジメント委員会を定期的に開き、事故防止に向けた情報の共有を図っている。
③	各クラスの担任2名のうち、クラス内の連絡・調整の係に任じられた1名と園長、主任による会議を園運営の質向上に向けた協議の場と位置づけ、週1～2回開催している。また、クラス担任の他、フリーの保育士2名を配置し、各クラスのフォローに加えて、行事計画の作成や各係で分担している園内業務の進捗管理等に当たる体制を整備した。そうした取り組みの結果、職員からの意見やアイデアに基づく新しい企画が次々と実現し、職員のモチベーションの向上につながっている。

(3)さらなる改善が望まれる点

①	今年度の事業計画において、子どもの個性を踏まえた保育計画と実践、記録、評価、見直しに至るサイクルの連続性を高めることを重点目標の一つに掲げている。そのためには、保育の記録が計画を踏まえた内容になっていること、計画の評価が日々の実践の記録という根拠に基づいて行われていることなどが必要となる他、計画作成の前段の部分で、子どもの発達状況や家庭環境等に関する情報の収集・分析を通じて適切な支援課題を洗い出すアセスメントの取り組みが重要となる。園では記録事務等のICT化を今後の課題の一つに上げているが、現在、園が取り組んでいる仕組みや作成している帳票類をアセスメントから始める一連のサイクルに改めて位置付け直し、体系的に整理したうえで検討を進めることが期待される。
②	要保護児童を含め、特別な配慮が必要な子どもに対する支援については、所属クラスの担任を中心として、園全体でフォローする体制がある。今後は関係機関とも連携して合同のケースカンファレンス等を開き、情報の共有を図りながら、より客観的かつ専門的な支援の提供を実現するための仕組みの整備が望まれる。また、保護者支援をさらに強化する観点から、保育におけるソーシャルワークや相談援助技術の習得を図るための計画的な育成に向けた取り組みの検討が期待される。
③	運営委員会の設置に関しては、園規則の苦情対応に関する条文に「利用者が意見を述べる場」との記載がある他、重要事項説明書に保護者の代表者、地域の学識経験者、園の代表者の三者で構成される意見交換の場として年2回以上開催することが謳われている。また、今年度の事業計画には、三者で保育園の運営について連携を図ると謳われている。今後、運営委員会の機能や役割をより明確にするとともに、保護者等の意見に対する園の対応方法を明文化し、保護者に周知することが期待される。併せて、重要事項説明書に記載された第三者委員会との違いについても、よりていねいな説明が望まれる。